



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:

活動は-堅実、
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

世界理解月間

第629回 平成12年 2月16日(水)

〔本日のプログラム〕

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| | 「手に手つないで」 |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 委員会報告 | |
| 7. 会員卓話 | |
| | 伊東忠寛君 |
| 8. 点 | 鐘 |

次回予告

★ 2月23日(水)
ロータリー創立
記念プログラム

★ 3月1日(水)
ゲスト卓話
3月セレモニー
理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎県佐土原大字下郷町3887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	TEL.及びFAX 0985-73-7170	総務	池田 仁志

第628回例会記録
(2000. 2. 9)

☆会長の時間

会長 福井 輝文 君

皆様 今晩は

第628回の例会です。

昨日(2月8日)宮崎市郡7クラブの
会長・幹事会があり、私と幹事代行の吉田
君が出席しました。

『ロータリーの森』の件が議題になり、
単年度にするか、継続していくか、場所
は何処にするか等、色々こちらも問題が
あるようです。これは次年度に持ち越し
にするとの事でした。

佐土原RCは、例会場に『ロータリー
の花壇』を別(独自)に作る予定である
事で了解を取りました。

もう1つは、IMの件があり、こちら
は全員登録、全員参加ということで念押
しがありました。

当日の交通の手段のことになり、7ク
ラブ一緒に行ったらどうだろうか、との
意見も出ていましたが、こちらも我々の
クラブはマイクロバスをレンタルする予
定であることを、伝えておきました。

会食の時、某クラブの会長の話を聞き
ました。

ある会員が朝刊の配達をしている…と
のこと。

皆、吃驚しました。 朝4時起き、
配達件数60軒、自転車、奥さんと2
人、収入2万5千円、勿論収入は問題外、
何故…と皆思われたこととおもいます。

それは自分の娘が以前配達をしていた
後を引継ぎ、唯一、自由になる早朝の時

間を利用し、己の運動を兼ねて少しでも
社会に貢献できたらとの思いで、この仕
事を続けていられるとの事、年齢は50
代半ばだということです。

本当に頭の下がる思いがしました。

今日もコピーを持って来ました。

ニュースで流していましたが、作った
ものを野ざらしにしているとの事、あと
の始末が問題になっているようです。

リサイクルにもお金がかかり、自治体
と処理業者との関係もある様です。

魚の雄が雌化し、雌が雄化している映
像が先日放映されていましたが、我々の
目に見えない処で、環境破壊が進んでい
るようです。

地球環境に関心を持つと言うのは簡
単ですが、実行は難しいと言わないで、
1つからでも何かやっていくことが大切
であると思います。

この地球を少しでも良い状態で後世に
託したいものです。

☆幹事報告

幹事代行 田村 勝二 君

例会変更通知

2月24日(木)はIMのため、

日時 2月20日(日)

時間 15:00~

場所 サンピア都城

に変更
都城中央RC

☆出席報告

委員長代行 田村 勝二 君

会 員 数	26名
例 会 出 席 者	19名
出 席 率	73%
メ-クア-ッブ者数	2名
修 正 出 席 率	81%
欠 席 者 名	結 井(卓), 宮 本 昭 幸, 田 村 勝 二



Happy Voice

結婚記念日のお祝いを有り難うございました。今回で31回目になる訳です。いつまで揃っておられることやら。焦らず、回を重ねたいものです。

正岡 文郁

洋子

誕生のお祝いを有り難う御座いました。大事に育てさせていただきます。

正岡 洋子

私達の結婚記念として、祝品を頂き、誠に有り難う御座いました。まだやっと40周年です。これからもよろしく御指導下さい。

徳丸 彰一

カズ子

誕生祝い、有り難う御座いました。

宮原 建樹

誕生祝いを頂きまして、有り難うございました。

宮原 洋子



☆会員卓話

江崎 富治 君

私の趣味の一つは読書です。傾向は、伝記、ノンフィクション、歴史小説。好きな作家は、司馬遼太郎、綱淵謙錠、池波正太郎、小島直記、阿川弘之などです。

本日は、小島直記を紹介します。小島直記は福岡県出身で46歳で脱サラした伝記作家。主に近現代の経済人の伝記を得意とする。本格的伝記の外に雑誌等に連載された歴史・人物エッセイ集があります。「人生まだ七十の坂」の中の一節に『幕末の学者佐藤一斎さんに「言志四録」という著書があります。私は二十代から七十歳の今日までこの本をくり返し読んできましたが、年をとるごとに面白味がふえてきて、特にこの数年愛着が深まり、いわゆる枕頭の書となりました。「老年」ということを考える場合、実に貴重な手がかり、示唆をあたえられる気がいたします。』と述べています。

「言志四録」は「言志録」「言志後録」「言志晩録」「言志墨録」からなっていて、「言志録」は、42歳から52歳、「後録」は57歳から67歳、「晩録」は67歳から78歳、「墨録」は80歳から82歳までの随筆を集めたものです。

ちなみに「言志四録」は、講談社学術文庫に川上正光訳注で取められています。

小島直記は全体で一番好きな言葉として晩録13番「一燈を頼め」をあげています。

一燈を提げて暗夜を行く。暗夜を憂うること勿れ。只だ一燈を頼め。

というものです。川上訳注は、人生行路を言っているのであり、一燈とは、自己の堅忍不拔の向上心ではなからうかとしています。

また、関連する話題として、釈迦の弟

子アーナダが「わが師よ、師のなき後、われわれは何を頼りにしたら宜しいのでしょうか」とお伺いした。これにお釈迦さんは「アーナダよ、汝自らを燈火とし、汝自らを依り所とせよ。他を依り所とするな。真理を依り所とせよ。他を依り所とするな。」と答えたと紹介しています。

一方私は40代だったと思いますが、通勤途上、ラジオで佐藤一斎の話の聞きました。話し手は野口逸三郎先生で、内容は晩録60番「学は一生の大事」です。

少にして学べば、則ち壯にして為すこと有り。

壯にして学べば、老いて衰えず。

老いて学べば、死して朽ちず。

というものでした。一度聞いて脳裏に焼きついていたのですが、後年、社会教育課で生涯学習資料を作成した際にその扉に掲載したものです。

次に、勉強も仕方を間違うととんでもないことになるというお話です。これは「逆境を愛する男たち第24話権力者の不明」に池並正太郎の「男の系譜」からの抜粋として紹介されているお話です。

今年のNHK大河ドラマは徳川三代で昨年が元禄攘乱でした。家康、秀忠、家光が徳川三代。家光の子、家綱が四代、家綱に子がなく、弟が跡を継ぎます。元禄攘乱でショーケンの名演技が光りました第五代將軍徳川綱吉であります。

父の家光は自分が若い頃、武術の修業ばかりやって学問しなかったことを悔やんで綱吉の生母桂昌院に、綱吉には聖賢の道を学ばせるように遺言をしました。

池波は「桂昌院はわみやたらに可愛がると同時に学問でなければ夜も日も明けぬという育て方をしたわけだ。子どもの時分からこんな育て方をされたらたまったものじゃありませんよ。」「学問だけに熱中する子どもなどというものは、

不健全に決まっている。子どもの頃は、何よりもその小さな肉体をフルに使って、身体で万障を確かめるべきなんだよ」と言っています。

ついには、隆光という坊さんにたぶらかされて「生類憐れみの令」という前代未聞の悪法を公布して住民を苦しめた。

ひるがえって、わが国の現代の教育事情を顧みずと教育ママを先頭に教育界、経済界あげてペーパーテスト至上主義の学歴社会を作り上げてしまいました。結果はどうでしょうか。

で、「権力者の不明」についてでありませんが、小島は次を紹介しています。

「越川三郎」という人の随筆に二・二六事件当時の総理岡田啓介の言葉として、「総理大臣になると三つのものが見えなくなる。第一が金、公金を思うように動かし、自分で金を使うことがないからその価値がわからなくなる。第二は人、周囲の取り巻きのごますりやらでだれが本当の人物か見分けがつかなくなる。第三は、国民の顔がどちらを向いているか分からなくなる。この三つが見えなくなったときは総理大臣はのたれ死にする。と言い切っている」とあり、つづいて、

「(権力者が)三つの不明からのがれるために、立派な師をもつこと、正しいことをあえて主張し上司をいさめる部下(争臣)をもつことだというのは、古今の名哲が教えているところだ。国に争臣がいなければ、亡ぶというのはよく知られた言葉である」と書いたあと「元総理の池田勇人はよく『自分は身辺に三人の知己をおいてこの意見をきく』と語った。

三人とは、一人は一流のジャーナリスト一人は本物の宗教家、一人は名医だそうである」とし、池田が墮落しなかったことを紹介しています。知事、市町村長、校長、社長さん等、もって銘すべき事柄ではないでしょうか。